

職員の幸せを

ブックスタート（二〇〇三年～）

ブックスタートとは、イギリスのバーミンガム市が一九九二年に始めた制度でして、市民の識字率低下への対策として、生まれたばかりの赤ちゃんに絵本を贈るものでした。

絵本は、単に、文字や言葉を覚えさせてくれるだけでなく、子供の情感をはぐくみ、その上、本を読む習慣を身につけてくれます。

五十数カ国の子供の読書率を調べた最近の国際調査によりますと、世界の中で一番本を読まないのは、日本の子供でした。

たった一回きりの人生を、幅広く豊かに生きるためには、古今東西のすぐれた人達が書かれた本を、なるべく多く読まなくてはなりません。

そこで私は、二〇〇三年からこのブックスタート制を採用し、職員のすべての赤ちゃんに、出産祝いとともに絵本をさしあげることになりました。